

令和4年度

決算報告書

(第4期事業年度)



自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

公立大学法人公立千歳科学技術大学

令和4年度 決算報告書

公立大学法人公立千歳科学技術大学

(単位：千円)

区分	予算	決算	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	869,942	869,942	0	
施設整備補助金	231,760	201,051	△ 30,709	(注1)
補助金収入	95,616	81,804	△ 13,812	(注2)
自己収入	699,945	714,647	14,702	
授業料等及び入学検定料収入	669,550	702,831	33,281	(注3)
雑収入	30,395	11,816	△ 18,579	(注4)
受託研究等収入	35,296	52,957	17,661	(注5)
寄附金収入	7,970	12,896	4,926	(注6)
目的積立金取崩収入	0	20,943	20,943	(注7)
計	1,940,529	1,954,240	13,711	
支出				
業務費	1,673,473	1,671,904	△ 1,569	
教育研究経費	532,242	555,219	22,977	(注8)
人件費	948,908	916,750	△ 32,158	(注9)
一般管理費	192,323	199,935	7,612	(注8)
受託研究等	35,296	45,740	10,444	(注5)
施設設備整備事業費	231,760	146,347	△ 85,413	(注10)
計	1,940,529	1,863,991	△ 76,538	
収入－支出	0	90,249	90,249	

○予算額と決算額の差異について

(注1) 対象事業費が減額となったため、補助金額も減額となりました。(注10参照)

(注2) 国の高等教育修学支援新制度による授業料減免に対し、千歳市から交付される「修学支援に関する減免費用」が予算よりも必要額が減額となりました。(減免対象者確定に基づく)

(注3) 入学者数及び在籍学生数が増加したため、増額となりました。

(注4) 教員免許状更新講習が終了したことにより、受講料収入がありませんでした。

(注5) 受託研究の増額(文部科学省・マテリアル先端リサーチインフラの増額補正他)等により、収入、支出共に増額となりました。

(注6) 新規の奨学寄附金の受入れにより増額となりました。

(注7) 年度途中で実施の必要性が生じた事業の財源に充てるため、目的積立金を取り崩しました。

(注8) 電気代、ガス代の料金値上げに伴い増額となりました。また、「施設設備整備事業費」のうち、固定資産取得に当たらない消耗品費、修繕費等の費用を本科目に計上しました。

(注9) 欠員の発生、新規採用教職員の給与確定、新型コロナウイルスの影響により授業、行事が実施方法の変更又は中止となったことに伴う学生アルバイトの減少等により、減額となりました。

(注10) 競争入札の実施により減額となりました。また「施設設備整備事業費」のうち、固定資産取得に当たらない消耗品費、修繕費等の費用は教育研究経費または一般管理費に計上しました。

○損益計算書との差異について

(1) 決算報告書では受託研究費等及び寄附金の受領が収入に全額計上されていますが、損益計算書では費用の発生に応じた額が収益に計上されています。

(2) 決算報告書では施設整備補助金の受領が収入に全額計上されていますが、損益計算書では費用に係るものは教育研究経費または一般管理費に計上され、費用の発生に応じた額が収益に計上されています。

(3) 決算報告書では固定資産取得額が支出に含まれ、かつ、減価償却費が支出から除かれています。